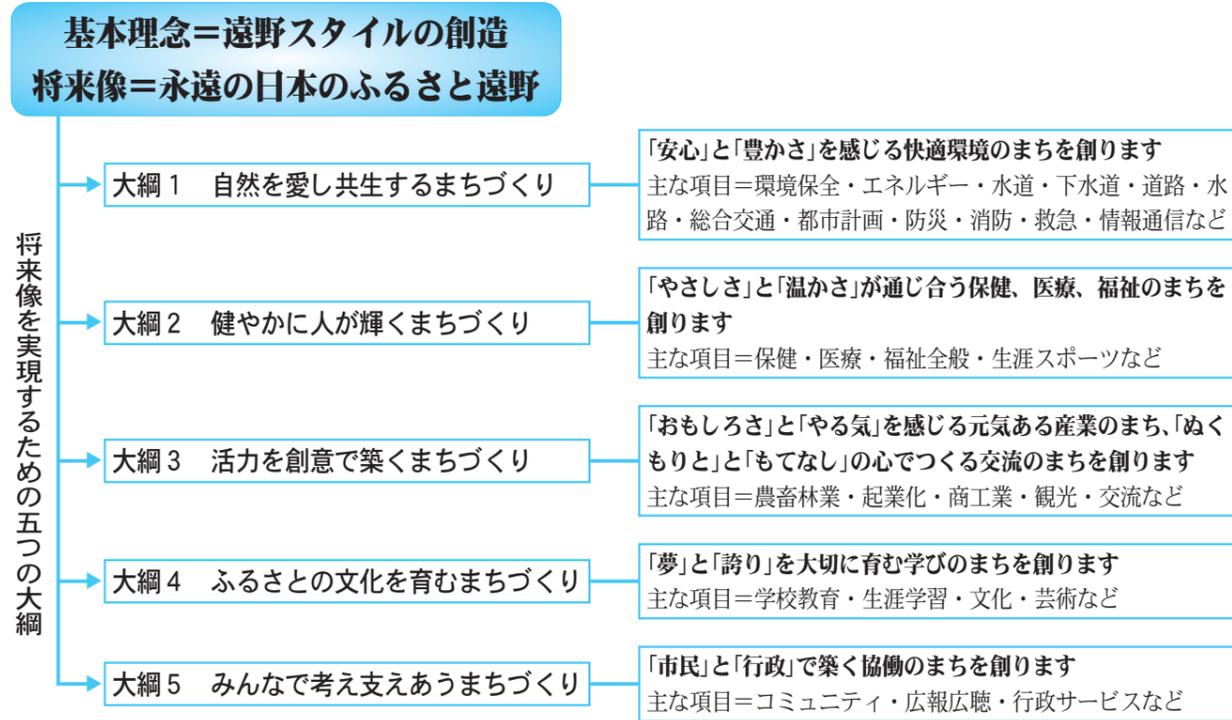


— 基本構想の体系 —



基本構想で定めた五つの大綱の実現に向けて、必要となる主要施策を具体化する前期基本計画(平成十八年度―二十一年度)は、今年九月を目標に策定作業を進めています。

この基本計画は、五月から実施している「市民と職員によるワーキンググループ(三十テーマ設定)」や住民意向調査、地区別懇談会などで出された多くの意見を反映させる市民協働でつくることが目指されています。

問い合わせ先 市政策企画室 (☎2111内線232)

永遠の日本のふるさと遠野

本市の進むべき方向性と基本理念を踏まえて、将来像を「永遠の日本のふるさと遠野」としました。自然と共生しながら、人々が健やかに輝き、活力にあふれ、ふるさとの文化を育み、市民一人ひとりの郷土への誇りと愛着と熱意によって、みんなで築くふるさとです。

悠久の時を越えて継承してきた遠野らしさを生かし育むことが、二十一世紀の日本の財産「永遠の日本のふるさと遠野」を創造します。

市民協働の基本計画策定に向けて

基本構想で定めた五つの大綱の実現に向けて、必要となる主要施策を具体化する前期基本計画(平成十八年度―二十一年度)は、今年九月を目標に策定作業を進めています。

市章・市旗、市の花・鳥・木などを制定

市村合併協議で、新市において制定するとされていた市章・市旗、市の花・鳥・木などが、市民を中心としたシンボル等選定委員会などの協議を経て、6月1日に制定されました。なお、市民歌と市民憲章は、10月1日の新「遠野市」誕生1周年記念式典で発表されます。

問い合わせ先=市総務課行政文書係 (☎2111内線212)



市章・市旗

「とおの」の頭字で、和台と躍進の力強さを表しています。



市の花 やまゆり

ユリ科の多年草。素朴で力強く、市内の至る所に自生しています。



市の鳥 やまどり

キジ科の鳥。市内全域の山林に生息し、羽全体が非常に美しい鳥です。



市の木 いちい

ブナ科の常緑高木。市内の多くの家庭の庭などに植えられています。



キャラクターマーク「カリンちゃん」

旧市のキャラクターマークにやまゆりとめがね橋を加えてデザイン。



次代を担う子どもたちのために、みんなで「ふるさと遠野」を築く

新しい市の総合計画・基本構想が決まりました

永遠の日本のふるさと遠野

計画期間を平成18年度―27年度とする総合計画・基本構想が、6月市議会定例会で議決されました。合併して初めて策定された総合計画は、市のすべての計画の基本となるもので、その中でも基本構想は、10年間のまちづくりの理念や将来像を示すものです。新しい市のまちづくりの道しるべとなる基本構想のあらましをお知らせします。

新市まちづくり計画を土台に

基本構想は、次の五つの方針に基づいて策定しました。

- 市村合併に向けて策定した「新市まちづくり計画」を基本とした計画であること
- 時代の流れをとらえたまちづくりの長期的指針となる計画であること
- 市民協働による市民の意向を反映させた計画であること
- まちづくりの進捗管理ができる計画であること
- 「経営改革大綱」を包括する計画であること

まちづくりの方向性

市内組織の総合計画策定委員会や市民で構成する総合計画審議会での総合調整を進め、今日の本市を取り巻く社会情勢や市民の望むまちづくりの観点から、本市に求められる

- まちづくりの方向性を次の五つに整理しました。
- 快適環境のまちづくりと安全の確保
- 安心して暮らせる保健・医療・福祉体制の充実
- 地域資源を活用した産業の活性化
- ふるさとの文化の継承と地域を担う人づくりの推進
- 市民と行政の協働

遠野スタイルの創造

本市に求められるまちづくりの五つの方向性を踏まえ、新市まちづくり計画に掲げた「二つの個性が融合し、躍動する、新しい遠野郷の創造」の理念を生かしながら、地域資源へのこだわりと未来を展望し、「遠野らしさ」を大切に個性豊かで存在感のあるまちづくりを進めるため、「遠野スタイルの創造」を将来像設定に向けた基本理念としました。

遠野スタイルとは、①地域の特性や資源を活かすこと②市民が主体性を持つこと③自分たちのまちをより良くしようとする行動すること―を基調に展開するまちづくりであり、同時に、持続可能な新たなまちづくりの仕組みを創造しようとする市民と行政の協働活動そのものです。